



第2章

目標と方針

本章では、目標景観像と基本方針、地域別の方針を示します。

なお、本章は、景観法第8条第3項に規定する「良好な景観の形成に関する方針」に該当します。

1. 目標景観像

魅力的な景観を形成するためには、市民、事業者、行政などが景観に対し誇りと愛着を持ち、同じ認識や価値観のもとにまちづくりに取り組むことが重要です。

そこで、市民、事業者、行政などが共有する将来の市の姿を「目標景観像」として定めます。

目標景観像

水と緑に包まれ、 人と自然が調和した美しいまち

- 水と緑に恵まれた市街地が、多様な自然や田園に包まれた潤いある景観 —
- 人の暮らしと地域の自然が調和した美しい景観 —

私たちが暮らす豊橋は、東部の里山のある地域では、緑豊かな木々が生い茂り市街地の背景となり、北部では、ゆったりと流れる豊川が市街地に潤いをもたらしています。西部では、三河湾や干潟が穏やかな海の表情を見せ、南部では、広大な農地と、海岸林の続く表浜が雄大な眺めをつくりだしています。また、市街地では、公園や河川などの自然が身近な空間にやすらぎをもたらしています。

このように、水と緑に恵まれた市街地が、山、川、海、農地に包まれ、豊橋らしい豊かな環境をつくりだしており、本市の景観形成を考えるうえで「水」と「緑」に代表される自然は決して欠くことのできないものとなっています。

また、古来、地域ごとに異なる自然のなかで人々の生活や産業が脈々と営まれ、東部では里山の暮らしの景観、北部では川とともに暮らす景観、西部では海を臨む産業活動の景観、中央部では都市生活の景観、南部では大地の耕作の景観など、地域ごとに特徴ある景観がつくられてきました。さらに、城下町、宿場町、湊町であったこのまちは、川や道を通じた交流により発展し、今もその面影や歴史的資源が残り、都市の魅力として現代に息づいています。

このように、地域の自然とともに人々が暮らし、歴史と文化を築き、調和のとれた地域らしい景観を生みだしており、人の暮らしと自然との調和は、本市の美しいまちづくりにとって非常に重要です。

そこで、これらを踏まえ、「水と緑に包まれ、人と自然が調和した美しいまち」を目標景観像に定めます。



市の木 クスノキ（くすのき通り）

2. 基本方針

ここでは、基本理念の「ともに育む 豊橋らしい ここちよい景観」のもと、目標景観像の「水と緑に包まれ、人と自然が調和した美しいまち」を実現するための基本方針を示します。

「豊橋らしいここちよい景観」を育みながら、「水と緑に包まれ、人と自然が調和した美しいまち」をつくるには、まず、目に見える景観の背景にある地域の成り立ちや、地域らしさを構成する景観資源を知り、大切にすることが必要です。そして、これらを活かした取り組みを進め、地域らしい景観に磨きをかけることが重要です。

そこで、これらを踏まえ、景観形成の基本方針を次のとおり定めます。

基本方針

**地域の成り立ちや景観資源を大切にし、
地域らしい景観に磨きをかける**

地域らしい景観を磨く上で重要なポイント

- **地域の自然や歴史・文化を大切にし、
地域ごとの特性に調和したまとまりある景観を育む**

豊橋市は、山、川、海などの多様な自然に包まれ、それぞれの地域で人々の暮らしがあり、長い歳月のなかで、地域らしい景観がつくられてきました。それぞれの地域の自然や歴史・文化などに目を向け、地域ごとの特性に調和したまとまりある景観を育んでいくことが重要です。

- **まちなかに新しい魅力を創出し、
東三河の顔となる賑わいを感じる景観を育む**

先人たちは、戦後焼け野原となった豊橋のまちを都市計画によって復興させました。以来、豊橋駅前を中心とするまちなかは、時代の流れとともに変容しながら、新たな賑わいを生んできました。これからも、本市と東三河の玄関口として、変化しつづける時代の中で、豊橋を印象付ける新しい景観を育んでいくことが重要です。

- **城下町・宿場町・湊町の歴史を活かし、
文化の薫る景観を育む**

豊橋の中心部はかつて「吉田」と呼ばれ、城下町・宿場町・湊町を擁する、交通の要衝でした。また、豊川河口には湊町として栄えた「前芝湊」があり、市街地の南東部には、東海道33番目の宿場町「二川宿」がありました。それぞれの場所では、当時の面影が建物の一部や町割、祭事など、様々な場所や場面で見え隠れします。現代的なまちの中でも、それらの資源を大切に継承し、文化の薫る景観を育んでいくことが重要です。

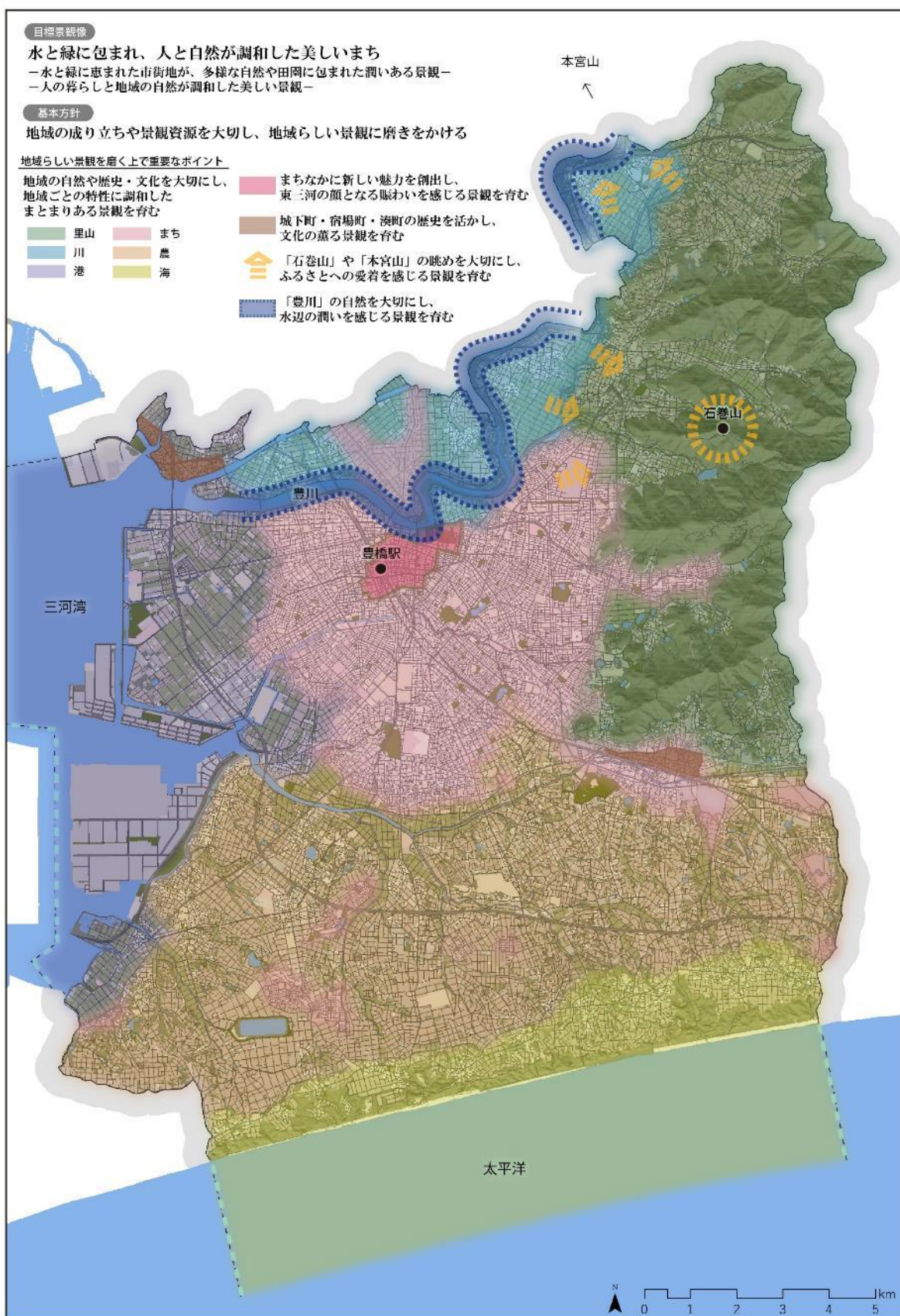
- **「石巻山」や「本宮山」の眺めを大切にし、
ふるさとへの愛着を感じる景観を育む**

市東部の丘陵に位置する石巻山は、その美しい姿から、古来、霊峰として信仰の対象になってきました。民話や校歌にも数多く登場し、市民に親しまれてきました。いつも、市民の暮らしを見守るように佇む端正な姿は、市民にとってふるさとの景観になっています。また、遠くに望む本宮山の山並みは、本市の背景になり、市民の暮らしに安らぎをもたらしています。こうした石巻山や本宮山への眺めを大切にし、ふるさと豊橋への愛着を感じる景観を育んでいくことが重要です。

- **「豊川」の自然を大切にし、
水辺の潤いを感じる景観を育む**

豊かな水をたたえて流れる豊川は、東三河に多くの恵みをもたらしてきました。古くから人々は豊川沿いに居を構え、川を通じて海と山の交流が生まれました。ゆるやかに蛇行しながら、まちなかに水を引き込む豊川は、安らぎある市民生活に不可欠な存在です。豊川沿川では、水辺の自然を大切にし、潤いを感じる景観を育んでいくことが重要です。

■ 図 目標景観像と基本方針



3. 地域別の方針

地域別の方針は、目標景観像「水と緑に包まれ、人と自然が調和した美しいまち」の実現に向けて、地域ごとに、良好な景観を形成するための方針を定めたものです。

ここでは、土地利用や地形、自然状況などの景観特性から、市域を大きく6つの地域に区分し、それぞれの地域の方針を示します。

■ 表 地域区分と地域の概況

地域区分	地域の概況
里山の景 ～東部丘陵地域～	石巻山のある弓張山地や、そのふもとに広がる柿畑をはじめとした田園など、里山の景観がみられる市東部の丘陵地域
川の景 ～豊川沿川地域～	河畔林などの豊かな自然のある豊川と、その周辺に広がる水田など、川を中心とした景観がみられる市北部の沿川地域
港の景 ～三河湾沿岸地域～	三河湾に面した臨海部の工業地帯や、渡り鳥が飛び交う汐川干潟など、港を中心とした景観がみられる市西部の沿岸地域
まちの景 ～市街地地域～	路面電車がゆったり走る豊橋駅周辺の中心市街地や、その周辺部に広がる落ち着いた住宅地など、まちの景観がみられる市中央部の市街地地域
農の景 ～南部田園地域～	なだらかな起伏を有する丘陵地に、キャベツ畑などの広大な農地の景観がみられる市南部の田園地域
海の景 ～表浜沿岸地域～	太平洋に面した美しい砂浜と緑豊かな海岸林など、雄大な海の景観がみられる市南部の沿岸地域

里山
の景

東部丘陵地域



里山のふもとに広がる田園と落ち着いた集落（岩崎町）

景観特性

市街地から眺めると美しい三角形の姿をした石巻山のある弓張山地と、そのふもとに広がる柿畑などの田園により形成されています。

地域の中には、葦毛湿原やイヌツゲ群生林などの貴重な自然景観が点在するとともに、馬越長火塚古墳をはじめとする古墳群や城址などの史跡、普門寺などの社寺も数多く存在し、歴史の趣きある里山の景観をつくりだしています。

地域別の方針

歴史と文化を継承した、 ふるさと感じる里山景観の保全

古くから霊峰として崇められてきた美しい姿の石巻山をシンボルとし、弓張山地の美しい山並みと、人と自然の共生により生まれた里山の景観を保全します。また、葦毛湿原をはじめとした貴重な自然や点在する歴史的資源を周辺景観と一体的に保全し、文化財の保存活用を図りながら、地域の歴史と文化を継承した落ち着いた景観を形成します。

人工物は、里山の景観に溶け込むよう配慮します。

■ 景観配慮イメージ図

自然歩道は、自然景観や眺望景観を体験する道として維持保全します。

ため池は、多様な生物が生息する環境に配慮し、周辺の自然景観とともに保全します。

史跡などは、周辺の自然景観や田園景観とともに保全します。

森林の適切な維持管理を行い、美しく潤いのある自然景観を保全します。

道路を整備する場合は自然地形に配慮し、できるだけ周辺環境と調和した線形とします。防護柵などの道路施設は、控えめなデザインとし周辺の自然や田園の景観に調和した意匠とします。

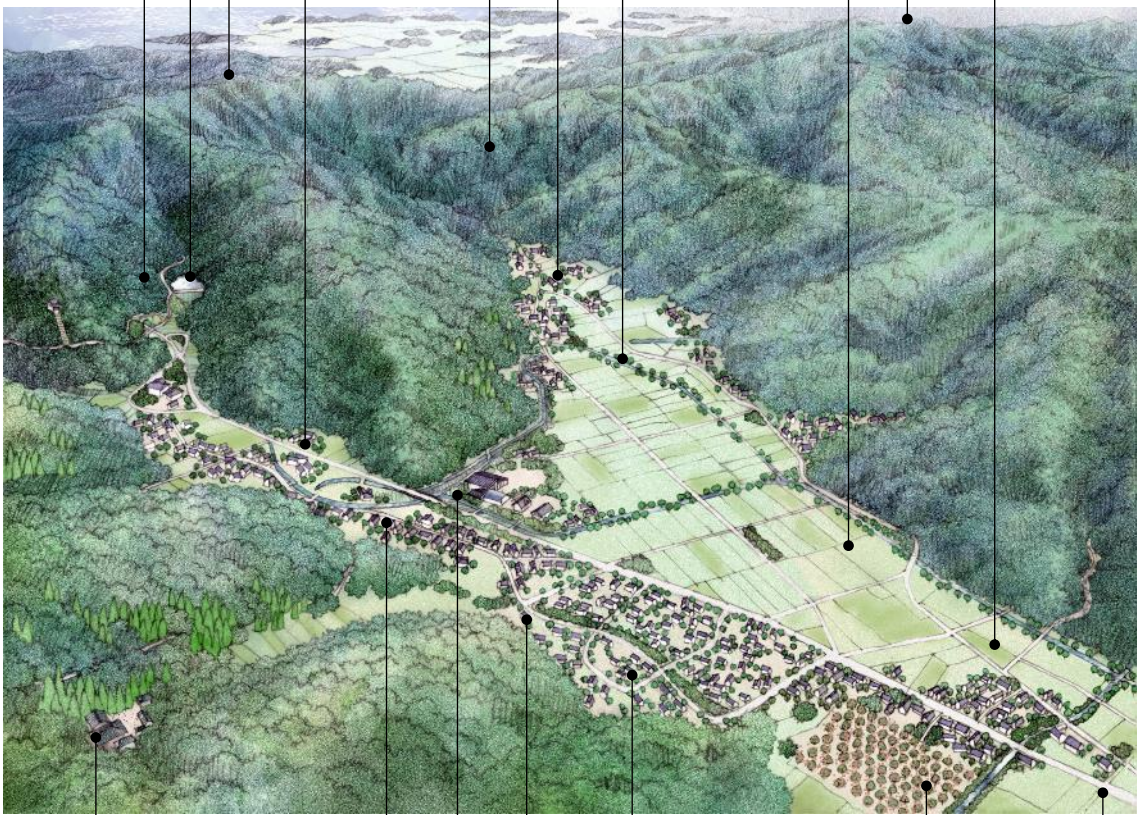
里の暮らしが表出した落ち着いた集落景観を保全します。

ホタルなどの多様な生物が生息する豊かな河川景観を保全します。河川改修を行う場合は、工法や素材に配慮し、周辺の自然や田園の景観にできるだけ調和したものとしします。

山間や山裾に広がる田園や水路の適切な維持管理を行い、集落と一体となった里の景観を保全します。

山上や自然歩道などから市街地などを眺めることのできる良好な眺望点を確保します。

遊休農地となっている場合は、景観作物の作付けなどにより、田園景観に配慮します。



点在する神社仏閣は、適切な維持管理を行い周辺の自然や田園の景観とともに保全します。

歴史的な趣を感じる旧宿場や旧街道などは、周辺の自然や里の景観とともに保全します。

大規模な建築物を整備する場合は、周辺の山並みや集落景観から突出しないようにし、施設の分棟化などにより長大感を軽減させます。また、既存集落に調和した意匠とし、敷地周囲の緑化などにより、里の景観に溶け込むようにします。

宅地造成を行う場合は、自然地形に沿った区画割とし、擁壁の表情や緑化などに工夫し、既存集落の景観と調和させます。住宅を建てる場合は、既存集落の伝統様式の建物に調和した意匠とし、屋敷林や敷地周囲の緑化などにより、里の景観に溶け込むようにします。

太陽光発電施設などを設置する場合は、道路等からの見え方に配慮した配置の工夫や、植栽等による遮蔽などにより、周辺景観に調和するようにします。

沿道に屋外広告物を設置する場合は、周辺の田園や自然景観の眺望を阻害しないよう配慮します。

柿畑などの地域を代表する農産物のある農地景観を保全します。



豊川沿川地域



景観特性

清らかに水をたたえて流れる豊川と、これに沿って広がる水田などの田園により形成されています。東部丘陵や本宮山の山並みが、地域の背景になっています。

豊川は全国屈指の清流で、中心市街地にある吉田城址の横をゆったりと蛇行し、まちに潤いをもたらしながら三河湾へ流れています。吉田城址より上流部は河畔林に覆われており、沿川の田園景観の緑の背景となっています。また、江戸時代に治水のために設けられた霞堤と呼ばれる不連続な堤防が見られます。

地域別の方針

河畔林に覆われた豊かな水の流れと、 広がりのある田園景観の保全

地域の歴史を育んだ豊かな豊川の流れと河畔林のある水辺の景観を大切にするとともに、人工河川である豊川放水路はヨシなどにより自然に近い景観形成を図ります。また、段丘の斜面緑地などの自然を背景にした落ち着いた集落の景観と広がりのある田園景観を保全します。

人工物は、自然の背景や田園に溶け込むよう配慮します。

■ 景観配慮イメージ図

清らかな水の流れを保全するとともに、治水に配慮しながら豊かな河畔林のある景観を保全します。また、水辺に親しめ、潤いの感じられる景観を創出します。

田園や水路の適切な維持管理を行い、生産環境を保持することで、広がりのある田園景観を保全します。

渡し船は周辺の自然を大切にしながら、本市の風情ある景観として保全します。

豊川沿いの公園は、水辺や河畔林の景観に親しめる空間にするとともに、吉田城や石巻山などの良好な眺望景観の視点場としての落ち着いた空間を創出します。

既存集落のある田園地帯で宅地造成を行う場合は、擁壁の表情や緑化などに工夫し、周辺の景観と調和させます。

大規模な工作物を整備する場合は、工法や素材、色彩などに配慮し、緑化を施すなど、周辺の自然や田園の景観に溶け込むようにします。



段丘の崖部に広がる緑は、田園の背景となる豊かな自然景観として保全します。

河川や田園の周辺では、防護柵などの道路施設は、控えめなデザインとし、周辺の自然や田園の景観に調和した意匠とします。

既存集落の周辺で住宅を建てる場合は、既存集落の伝統様式の建物に調和した意匠とし、屋敷林や敷地周囲の緑化などにより田園の景観に溶け込むようにします。

沿道に屋外広告物を設置する場合は、周辺の田園や背景の山並みなど自然景観の眺望を阻害しないよう配慮します。

太陽光発電施設などを設置する場合は、道路等からの見え方に配慮した配置の工夫や、植栽等による遮蔽などにより、周辺景観に調和するようにします。

大規模な建築物を整備する場合は、周辺の集落景観から突出しないようにし、施設の本棟化などにより長大感を軽減させます。

また、既存集落に調和した意匠とし、施設周囲の緑化などにより、周辺の景観に溶け込むようにします。

港
の景

三河湾沿岸地域



産業道路が交差する三河港周辺

景観特性

三河湾の埋め立てによりつくられた港のある工業地帯と、神野新田の広がりある水田地帯により形成されています。

河口部の水辺には、一年を通して渡り鳥が訪れる豊かな生態系のある汐川干潟や六条潟が広がっており、三河湾に面して緑豊かな総合スポーツ公園が整備されています。また、護岸観音（三十三観音）などの歴史資源も見られます。

地域別の方針

水辺の自然や田園と調和した 活力ある港の景観の形成

世界に開けた港のある臨海部の工業地帯では、産業活動による活力を感じる景観を形成します。また、周辺では神野新田の広がりのある田園景観や豊かな生態系のある干潟の景観を保全します。地域全体では、緑化により潤いを創出し、産業活動と自然が調和した景観を形成します。

人工物は、緑化や人工海浜などにより、自然や田園と調和するよう配慮します。

■ 景観配慮イメージ図

水質の改善などにより、三河湾と水辺の自然景観を保全します。

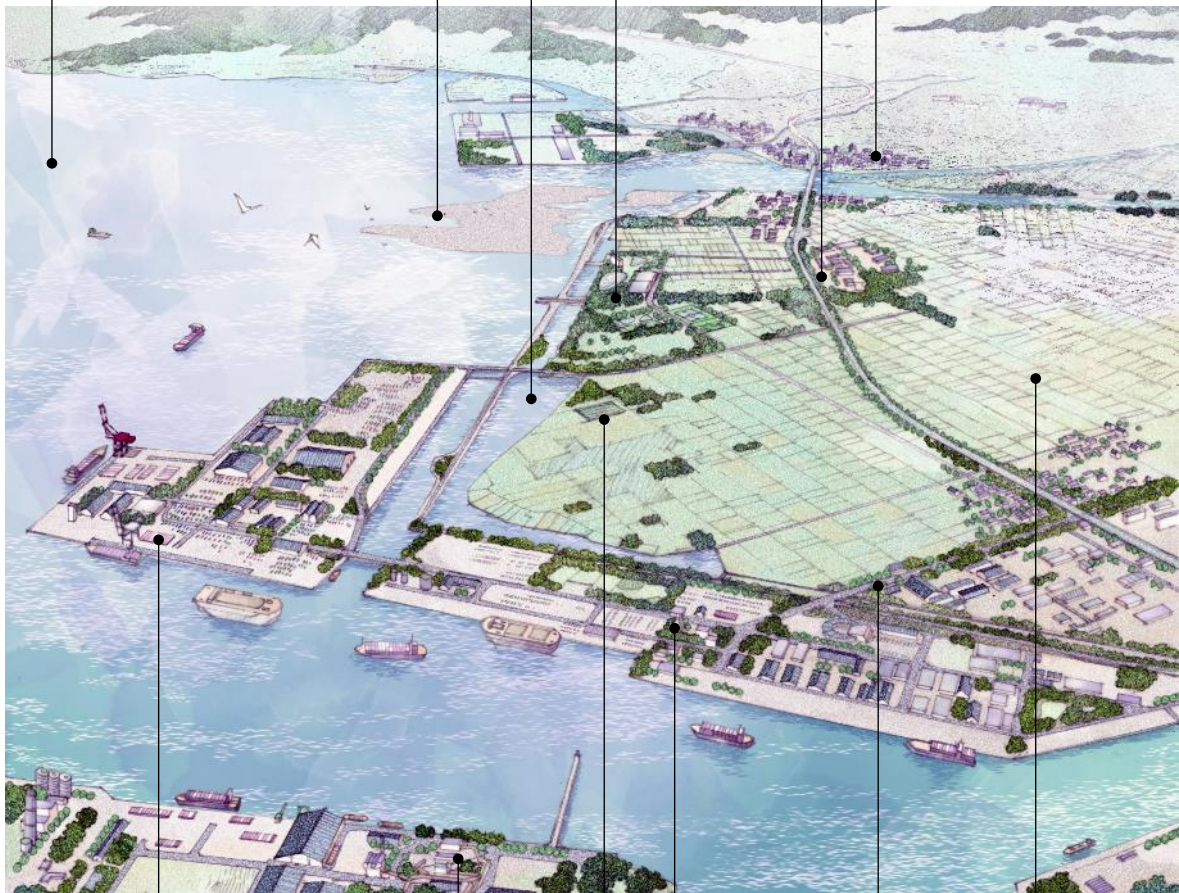
公園では、緑化により、まとまりある緑を創出するとともに、三河湾や水辺を眺望できる視点場を確保します。

田園地帯や住宅地で大規模な工作物を整備する場合は工法や素材、色彩などに配慮し、緑化を施すなど、周辺の景観に溶け込むようにします。

遊水池は、多様な生物が生息する水辺の景観として保全します。

水質汚濁やゴミの不法投棄の防止、美化活動の推進などにより、豊かな生態系のある干潟の景観を保全します。

既存集落の落ち着いた景観は、周辺の田園とともに一体的に保全します。
旧湊町や旧漁村は、歴史的な資源や往時の面影を大切に、落ち着いた暮らしの景観を形成します。



三河港は、三河湾の自然景観に配慮しながら、世界に開かれた港として、活力ある景観を創出します。

臨海の工業地帯では、敷地内の緑化を推進し、潤いのある景観を創出します。

展望室から三河湾などの良好な眺望が得られるよう配慮します。

田園や水路の適切な維持管理を行い、生産環境を保持することで、広がりのある田園景観を保全します。

太陽光発電施設などを設置する場合は、道路等からの見え方に配慮した配置の工夫や、植栽等による遮蔽などにより、周辺景観に調和するようにします。

沿道に屋外広告物を設置する場合は、周辺の田園や自然景観の眺望を阻害しないよう配慮します。

まち
の景

市街地地域





穂の国とよはし芸術劇場プラット



こども未来館こここ



東口駅前広場のイルミネーション

景観特性

中高層建築物が集積した豊橋駅周辺の商業業務地と、その周辺部に広がる落ち着いた住宅地により形成されており、吉田城址や二川宿など、歴史の面影が色どく残る場もあります。市街地の周囲は、河岸段丘の斜面緑地や河畔林などによるグリーンベルトで縁どられています。

豊橋駅前からは、東部の住宅地に向けて路面電車が走り、本市固有の趣ある景観が見られます。また、地域全体には伝統行事のある社寺など、多くの歴史・文化の資源が点在するとともに、緑豊かな公園や街路樹がまちに潤いをもたらしています。

地域別の方針

緑と水の潤いを感じる、 魅力ある都市景観の形成

豊橋駅周辺の中心市街地では、東三河の顔として夜景にも配慮した賑わいと活力を感じる都市景観を創出し、周辺の住宅地では、暮らしの場として落ち着きと安らぎを感じる景観を形成します。二川宿などの歴史的環境の残る地域では、重要な資源を保全しながら、歴史と文化の薫る景観を形成します。地域全体では、点在する歴史や文化の資源を活かし、ユニバーサルデザインに配慮したまちづくりを進めながら、公園や河川において緑と水に親しめる空間を創出し、民有地も含めた緑化を推進することにより、暮らしの中に潤いを感じる魅力ある景観を形成します。

また、市街地を包むグリーンベルト保全するとともに、中心部の商業地から周辺の住宅地に向かって低くなる良好なスカイラインを保全します。

人工物は、統一感のあるまち並み景観を目指し、周辺との調和に配慮します。

■ 景観配慮イメージ図

商業地の建築物は、歩行者の視点を意識し、スカイラインを統一するなどまち並み全体の調和に配慮しながら、賑わいと魅力を感じるデザインに心がけます。

民有地への緑化を促し、緑豊かな潤いある景観を創出します。

屋外広告物は企業イメージを尊重しつつも、派手な色彩を広範囲に用いないようにします。

街路樹は、四季の変化を感じる植栽に心がけ、適切な維持管理を行いながら、緑豊かな景観を形成します。

壁面緑化などにより、まちなかに潤いの感じられる空間を形成します。



駅周辺で大規模建築物を整備する場合は、公開空地を設け都市空間にゆとりを創出するとともに、積極的に緑化を図り、潤いある景観を創出します。

また、周辺の景観のリード役として地域の歴史や文化の背景を意識しながら、個性ある景観を形成します。

屋外広告物は、まち並み全体の景観を乱さないよう、建築物に調和したものとし集合化を図ります。

路面は、行き交う人々や沿道の建築物が引き立つ、落ち着いた色彩や素材とします。

防護柵や照明灯などは、安全性や機能面に配慮しながら、中心市街地では洗練された意匠とします。

また、照明は光の種類や量等を工夫して夜間景観の演出に配慮します。

■ 景観配慮イメージ図

公園は生物多様性に配慮しながら四季の変化を感じられる緑化に心がけ、河川と連携し、緑と水に親しめる拠点とします。

宅地開発を行う場合は、まち並みの中に緑を計画的に配置し、潤いと安らぎを感じる景観を形成します。

住宅は、隣り合う建築物との調和に心がけ、敷地内の緑化を図ることにより、潤いと安らぎを感じるまち並み景観を形成します。

住宅は、東部丘陵などの背景が間近にある場合は、自然と調和した落ち着いた意匠（低彩度の色彩など）とします。



公園は行政や市民等との協働で、潤いのある景観を創出します。

東部丘陵の山並みや周辺の景観資源などを意識し、良好な眺望景観の視点場としての落ち着いた空間を創出します。

また、民地や道路の緑とのつながりを意識し周辺と一体感のある景観を創出します。

路面は、行き交う人々や沿道の建築物が引き立つ、落ち着いた色彩や素材とします。

農
の景

南部田園地域



ゆるやかな起伏のある大地に広がる農地（杉山町付近）

景観特性

ゆるやかな起伏のある大地にパッチワークのように広がるキャベツ畑などの田園により形成されています。

田園地帯には、集落や社寺が点在し、鎮守の森などの平地林が田園の背景になっています。また、シダレザクラのある野依八幡社や天伯湿地などの景観資源も見られます。

地域別の方針

ゆるやかな起伏のある大地と 広大な田園景観の保全

ゆるやかな曲線を描く起伏のある地形を大切にし、広がりのある田園景観を保全します。また、これらの背景となり、安らぎやアクセントを与えている鎮守の森などの平地林と、屋敷林で囲われた落ち着いた集落の景観を保全します。

人工物は、広がりをつなぐせず、土と緑に溶け込むよう配慮します。

■ 景観配慮イメージ図

田園や水路の適切な維持管理を行うとともに、生産環境を保持し、広がりのある田園景観を保全します。

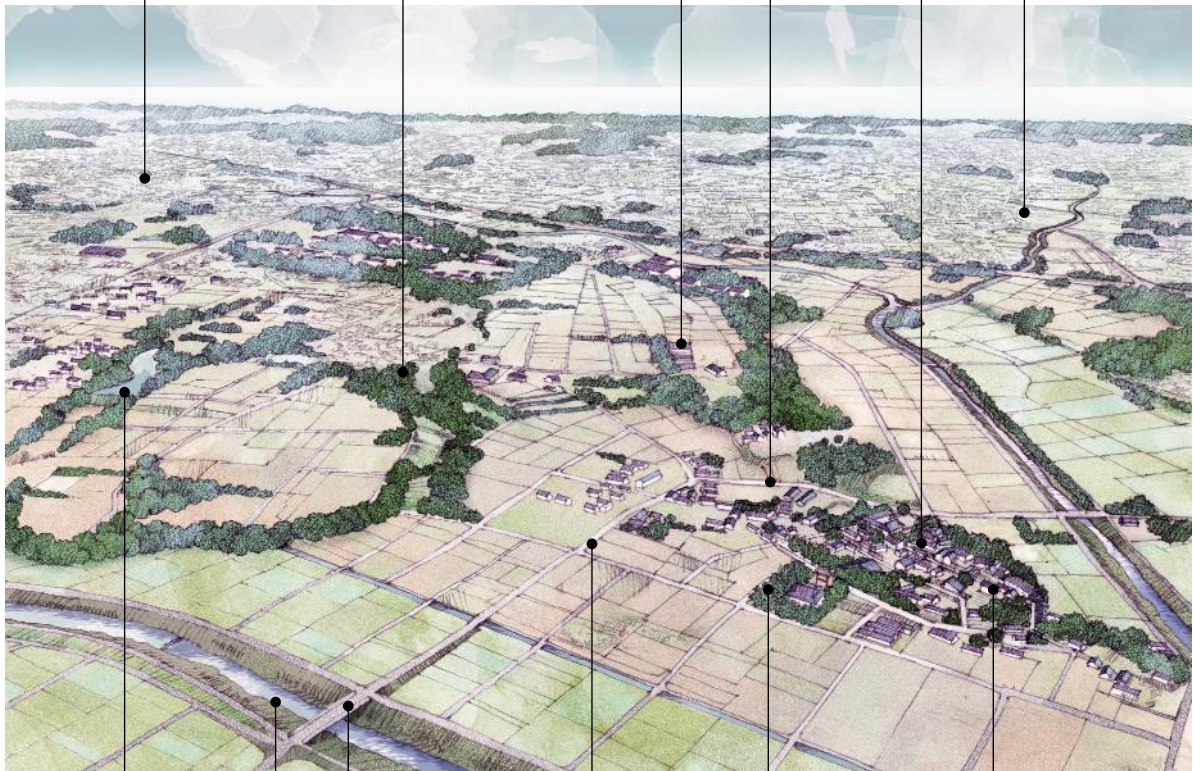
太陽光発電施設などを設置する場合は、道路等からの見え方に配慮した配置の工夫や、植栽等による遮蔽などにより、周辺景観に調和するようにします。

道路を整備する場合は自然地形に配慮し、できるだけ周辺環境と調和した線形とします。

工場や住宅地を開発する場合は、周辺の緑化等により、田園景観に調和させます。

緑地や平地林は、美しい田園景観の背景として保全します。

田園とともに一体的な景観を成している落ち着いた集落景観を保全します。



ため池は、多様な生物が生息する環境に配慮し、周辺の田園景観とともに保全します。

橋梁を整備する場合は、河川や緑などの自然景観と調和したものとします。

住宅を建てる場合は、既存集落の伝統様式の建物に調和した意匠（勾配屋根、低彩度の色彩など）とし、屋敷林や敷地周囲の緑化などにより、田園の景観に溶け込むようにします。

親水性が必要な河川改修を行う場合は、工法や素材に配慮し、周辺の自然や田園の景観にできるだけ調和したものとします。

沿道に屋外広告物を設置する場合は、周辺の田園や自然景観の眺望を阻害しないよう配慮します。

鎮守の森を大切に、緑豊かな景観を保全します。

海
の景

表浜沿岸地域



砂浜と海食崖が続く表浜海岸（高塚町付近）

景観特性

アカウミガメが産卵に訪れる美しい砂浜と常緑広葉樹の海岸林により形成されています。

西に向かうにつれて、外海の荒波と風が長い年月をかけてつくりあげた荒々しい海食崖が見られ、海岸からは、遠州灘（太平洋）を一望することができ、自然の雄大さを感じさせます。また、台地の上には海岸林に包まれた落ち着いた集落が点在し、東観音寺などの歴史的資源も見られます。

地域別の方針

美しい砂浜と海岸林が続く 雄大な自然景観の保全

アカウミガメの産卵地となっている貴重な生態系のある美しい砂浜と、海食崖の上につながる常緑広葉樹林の雄大な自然景観を保全します。また、海岸林に包まれた落ち着いた集落の景観を保全します。

人工物は、周辺の自然景観に調和するよう配慮します。

■ 景観配慮イメージ図

海岸林に包まれた落ち着いた集落景観を保全します。

海岸保全施設などの工作物は生態系に配慮した配置やデザインにするとともに、仕上げの工夫や自然の回復により、周辺環境に調和させます。

防護柵などの道路施設は、控えめなデザインとし、周辺の自然や田園の景観に調和した意匠とします。

海食崖の上につながる常緑広葉樹の緑豊かな海岸林を保全します。

表浜の美しい自然景観を眺めることのできる視点を確保します。

道路を整備する場合は自然地形に配慮し、できるだけ周辺環境と調和した線形とします。

屋外広告物を設置する場合は、眺めを遮らないようにし、周囲の自然景観に調和した意匠とします。



常緑広葉樹の続く緑豊かな海岸林とアカウミガメの産卵地にふさわしい美しい砂浜の景観を保全します。

離岸堤は、できるだけ水面から露出しないように配慮します。

公衆トイレや駐車場などの施設は、見通しを遮らない配置や形状とし、自然に調和した意匠とします。

ゴミの不法投棄の防止、美化活動の推進などにより、豊かな自然景観を保全します。

■ 図 地域別の方針

